

# 中学校 第3学年 A表現(1)(3), B鑑賞

## 1 題材名 「立体による自己の探求」

### 2 学習目標

(美術への関心・意欲・態度)

立体により自己を追求する表現に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞に取り組む。

(発想や構想の能力)

感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などを基に表したい世界を考え、想像力を働かせ、(単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、)創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練る。

(創造的な技能)

材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現する。

(鑑賞の能力)

造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り見方を深め、(作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、)美意識を高め幅広く味わう。



### 〔共通事項〕

- ア 形や色彩、材料、光などがもたらす性質や感情を理解すること
- イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること

### 3 指導計画

時数	学習活動	赤字は共通事項との関連
導入 (0.5時間)	1 自己の考えや心の世界を主題にした美術作品を鑑賞し、立体により自己を追求し表現することに関心や意欲をもつ。	(関心・意欲・態度)
展開 (10.5時間)	2 文章などにより自己の思いや考え、大切にしていること、夢などを整理し、主題を発想する。 ・ ウェビングを使って、自分に関係の深い「人」「もの」「時」「場所」などに対する思いや願いを言葉を使って整理し、主題を生み出す。(発想や構想の能力)	
	3 主題を基に、想像力を働かせ、構想を練る。 ・ <b>形や色彩、材料などの感情効果を生かしながら</b> 、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え創造的な構成を工夫し、アイデアスケッチを描いたり、紙粘土のミニチュア試作で紙上ではイメージしにくい配置などを考えたりしながら構想を練る。(発想や構想の能力)	
	4 材料や用具の特性を生かし、見通しをもって表現すること。 ・ <b>制作している作品のイメージをとらえ、形や色彩、材料などの効果を生かしながら</b> 、自分の意図に合う表現方法を工夫するなどして、制作の順序などを総合的に考えながら表現すること。(創造的な技能)	
まとめ (1時間)	5 他者の作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、幅広く味わうこと。(鑑賞の能力) ・ <b>作品全体のイメージや、形や色彩、材料などの効果をとらえながら</b> 、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして見方を深め、幅広く味わうこと。	

### 4 用具や材料

- ・教師 板、紙粘土、針金
- ・生徒 必要なもの

注：平成21年度  
岡山県総合教育センター  
研修講座 題材検討より

